

第1回

生物多様性講座 開催報告

ビーチコーミングを学ぶ

8月5日(土) 10:00~11:30 ★ 参加人数 子ども6名、大人7名 ★

1. ビーチコーミングを知る

(お話し) <ビトポ・ネットワーク中部 宇野講師>

- ビーチコーミングの意味・楽しみ方・注意点の説明
- ビーチコーミングで拾えるもの
貝殻、ウニ殻、カニ甲羅、イカの骨 など
貝殻については、内湾と外洋では拾える貝が違うことの説明
ウニ殻のトゲの取り方の説明
- その他の拾えるものについて説明
流木・木の実・海藻と海草の違い
海藻の押し花のつくり方の説明

- 遠州灘（篠原海岸）で拾ったものを紹介

(体験)

- ウニ殻ランプづくり
- 貝殻を飾ったフォトフレームづくり

(参加者の様子)

- 拾えるものの種類が多いことに驚いていた。
- ビーチコーミングの楽しみ方が分かった。

3. 参加者の声

- 小5 ウニのトゲを取ったらこのような形になることを初めて知った。また、色々な貝や漂着する骨のことも学ぶことが出来た。
- 小5 楽しかった。貝殻を磨くとピカピカになることが分かった。もらった貝を磨いてピカピカにしたい。
- 小4 貝殻の事を知ることによって貝殻が好きになった。
- 中1 海岸には、お宝が眠っていることが分かった。海岸に行ってみる。
- 小1 貝殻を使って素敵なフォトフレームが出来た。貝殻を飾るだけで違ったものになった。貝殻の力はすごいと思った。
- 小3 マッコウクジラの結石が龍涎香（りゅうぜんこう）と言われる香料の一種であり、大変高価であることを知った。

2. 体験の様子

